

学習内容報告書

学校名	福島県南会津郡只見町立朝日小学校
授業者	目黒 貴子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

もっと なかよく まちたんけん

1-2. 学年

第2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

地域の人々と関わる活動を通して、地域には生活したり、働いたりしている人がいることや、それらの人々と自分たちの生活との関わりに気づき、地域の人々に親しみや愛着をもつとともに、人々と適切に接したり、安全に生活したりすることができるようにする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

単元のねらい

地域で関わった人々のことを振り返り、友達と伝え合う活動を通して、自分たちの地域には、すてきな人や場所がたくさんあることが分かり、地域への親しみや愛着を持つことができるようにする。

単元設定の理由

（1）児童の実態

本学級の児童は男子4名女子3名の計7名で、男女を問わず仲が良く、授業中の発言も活発である。生活科の学習についても、昨年度の2年生の活動写真などを見て興味を持っており、毎時間の授業をととても楽しみにしている。

1学期の「大きくなあれ わたしの野さい」では、ミニトマトやナス、サツマイモを植えたが、子どもたちは毎日水やりを行ったり、畑の様子を見に行ったりして、野菜の生長を楽しみにしていた。夏休み明けには畑の草むしりを行い、収穫できる日を心待ちにしている。

「生きものなかよし 大きくせん」では、トンボやバッタ、カナヘビなどを捕まえ、どんなえさを与えればいいのか、図書室の図鑑で調べる姿も見られた。

第1回目の町探検「どきどきわくわく まちたんけん」では、郵便局、富士久、駐在所の3カ所を全員で訪問し、訪問先では、説明を聞き、メモを取ったり事前に考えていた質問をしたり積極的に地域の人となかよくしようする姿が見られた。また、点字ブロックやスロープになっているところに気付いたり道を歩いている人や畑仕事をしている人にも挨拶をすることができ町の人とも触れ合うことができた。

(2) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編（3）「地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。」を取り扱うものである。

1 学年では、学校の内外や通学路、学校を取り巻く自然などとの関わりを通して、様々な経験を積んできた。2 学年では、その経験を踏まえて、地域の施設や職場、地域の人々との関わりを通して、自分が住んでいる地域についての理解をより深めていくことになる。

本単元では、自分たちで計画して町探検に出かけ、様々な人から話を聞いたり、質問したり、一緒に活動したりして地域の人とコミュニケーションをもつ。そして、その内容をまとめて友達どうしで発表し合う。そのことを通して、自分たちが住んでいる只見町について親しみや愛着をより深めることができる。そのような意味で、本校の研究テーマ「つながりの中で『只見愛』を育みながら、学び続ける子どもの育成」に直結する単元であると考えている。

(3) 指導観

児童観でも述べたように、春の町探検では、7名全員で「郵便局」「富士久」「駐在所」を訪問した。本単元では、その経験を踏まえ、それぞれが行ってみたい場所を出し合い、希望が近い児童同士でグループを作って、自分たちで計画をつくって探検できるようにする。

第1次の「まちたんけんの計画をたてよう」では、行ってみたい場所を各自に出させ、グループをつくり町探検の計画をつくる。7名という少人数であるので、2グループに編成する。

第2次の「もういちどたんけんにいこう」では、計画に沿って実際に探検に出かける。ここでは、児童の安全を確保するため、支援員の協力を得て、両方のグループに指導者がつくようにする。ただし、指導者はあくまでも見守るだけにし、児童主体に活動させる。

第3次の「まちの人となかよくなろう」では、第2次の探検で触れ合った人々ともっと親しくなるために、再度訪問する計画を立て、実際に訪問する。ここでは、単に話を聞くだけではなく、実際に体験もしてみることができるよう留意する。

最後の第4次「なかよくなった人のことをしょうかいしよう」では、グループごとに協力して、地域でかわった人たちのことを、他のグループに紹介する活動を行う。

本時は第4次の2時間目で、実際に各自が訪問した場所を紹介する活動を行う。全員に発表する経験をさせるためにあらかじめ一人1～2カ所を割り当てておく。また、自信を持って発表できるように、写真や地図、発表資料等を作成させた上で発表活動を行うようにさせる。そして、全員の発表が終わった後で地域で働いている人に親しみや愛着を持たせる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<p>進んで参加する態度</p> <p>ア 春に行った地域の場所や関わった人たちに関心を持ち、もう一度行こうとしている。</p> <p>カ 探険で関わった地域の人ともっと親しくなるために、繰り返し関わろうとしている。</p> <p>コミュニケーションを行う力</p> <p>エ 相手や場、状況に応じた適切な行動について、考えて、地域の人と関わっている。</p> <p>キ 地域の人々と関わる中で、地域で生活したり働いている人々の、地域への思いに気付いている。</p> <p>ケ 撮ってきた写真や絵地図を見せながら、行ってきた場所や関わった人のことを友だちと発表し合うことができる。</p> <p>他者と協力する態度</p> <p>ウ グループで協力して、探険に行く順路や通る道、持ち物、探険のルールやマナーを考え、町探検の計画をつくることができる。</p> <p>ク グループで協力して、探検で関わった人のことや、見てきたこと、聞いてきたことをまとめ、発表する準備をすることができる。</p> <p>つながりを尊重する態度</p> <p>イ これまで関わった人々の中から、会いたい人を決め、町探険のグループを作ることができる。</p> <p>オ 地域で生活したり働いている人々の様々な工夫や技などに気付いている。</p>	
--	--

1-7. 単元の展開（全12時間）

次	時	主な学習活動	教師の指導 / 主な評価外部連携 / 使用教材等 評価 <ESDの能力・態度とのつながり>
1	1	春の町探険や夏休み中に行った場所のことを話し合う。	ア 春に行った地域の場所や関わった人たちに関心を持ち、もう一度行こうとしている。 <進んで参加する態度>
	2	探険に行きたい場所、話したい人、聞きたいことなどを話し合い、町探険のグループを作る。	イ これまで関わった人々の中から、会いたい人を決め、町探検のグループをつくることができる。 <つながりを尊重する力>
	3	グループごとに、探険する場所や聞きたいことを確認し、順番や通る道、持ち物、探険のルールやマナーなどを計画表に書く。	ウ グループで協力して、探険に行く順路や通る道、持ち物、探のルールやマナーを考え、町探検の計画をつくることができる。 <他と協力する態度>
2	1 2	グループごとに、計画に沿って探険に行き、地域の人と関わったりインタビューをしたりする。	エ 相手や場、状況に応じた適切な行動について、考えて、地域の人と関わっている。 <コミュニケーションを行う力>
	3	活動を振り返り、町探険で聞いてきたことや気付いたことを友達に話したり記録カードに書く。	オ 地域で生活したり働いている人々の様々な工夫や技などに気付いている。 <つながりを尊重する力>
	1	前時の探険で関わった人ともう一度関わる計画を立てて準備する。	カ 探険で関わった地域の人ともっと親しくなるために、繰り返し関わろうとしている。 <進んで参加する態度>
	2	グループごとに計画に沿って探険に	キ 地域の人々と関わる中で、地域で生活した

3	<ul style="list-style-type: none"> 行き、地域の人にインタビューしたり一緒にできることをしたりする。 	<p>り働いている人々の、地域への思いに気付いている。</p> <p style="text-align: right;">＜コミュニケーションを行う力＞</p>
---	--	---

2 学習活動の実際



2-1 単元における位置づけ

単元 1 2 時間中の 1 1 時間目

2-2 本時の目標

地域に関わる活動で分かったことを伝え合う活動を通して、地区のよさに気づいて自分の言葉で表現することができる。（思考・表現）

＜コミュニケーションを行う力＞

2-3 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>め なかよくなった人のことを しょうかいしよう</p> </div> <p>2 発表の仕方や聞く態度についての注意を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなに聞こえるように話す。 話をする人を見ながら聞く。 発表が終わったら拍手をする。 <p>3 グループごとに発表する。</p> <p>Aコース</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝日振興センター 朝日郵便局 町の小さな美術館 ヤマザキショップ <p>Bコース</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝日診療所 こぶし苑 	<p>○本時のめあてを提示する。</p> <p>○他の教科でも発表の仕方や聞き方指導しているが、改めて全体に指示しておく。</p> <p>○事前に写真や絵地図、お知らせカードなどを準備させておき、それを使って分かりやすく発表できるようにさせる。</p> <p>○発表原稿も用意させておくが、できるだけそれを見ないで発表するようにさせる。</p> <p>※各コースの発表が終わったら、すぐに発表内容について質疑応答をさせ、次の児童の発表に移るようにする。</p>



<p>・消防署只見出張所</p> <p>4 なかよくなった人たちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日診療所の医師 ・消防署で働いている人 ・ヤマザキショップの経営者 ・町の小さな美術館 ・こぶし苑 ・朝日振興センター ・朝日郵便局 <p>など</p> <p>5 発表を聞いて、あらたに分かったことを感想にまとめる。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>※各グループの発表をもとになかよくなった人たちについて話し合わせる。</p> <p style="text-align: center;">＜コミュニケーションを行う力＞</p> <p>○児童の発表の言葉から問い返し、児童の考えをより深めるような発問をする。</p> <p>◇地域に関わる活動で分かったことを伝え合う活動を通して、地区のよさに気づいて自分の言葉で表現することができたか。（思考・表現）</p> <p>○分かったことや感想をプリントにまとめさせる。</p> <p>○分かったことや感想を発表させることで、本時の学習内容を振り返らせる。</p>
---	---



3, 今回の活動の自己評価

(1) 成果

- 町探険のグループをAコース・Bコースとコース別にすることで、子どもたちはお互いの発表をしっかりと聞くことができた。
- コース別に探険させたことで、責任をもって自分の言葉で、写真や地図を使って紹介することができた。
- 町探険を通して、働いている人に話を聞いたり質問をしたりした中で親しみを持ちコミュニケーションを図り、人とのつながりを持つことができた。

4, 今後の課題

(2) 課題

- めあてが「なかよくなった人をしょうかいしよう」だったが、場所や事業所の説明になってしまった。
- キャリア教育も兼ねて、各事業所で、職場体験的なことも行ったが、時間がたりなくなってしまいじっくり体験させることができなかった。さらに教材研究を深め、よりよい授業作りに取り組んでいきたい。

5, 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- 建物ばかりではなく、周りの様子（川や標識）にも気をつけて歩いたこと
- 各事業所へ訪問し、仕事を手伝ったり働いている人たちにインタビューすることができたこと